

# 東京学芸大学における環境教育・ 環境学習の現在

タイとの環境教育協力を事例として

木俣美樹男

東京学芸大学環境教育実践施設

Angkana Onthanee

Watthonglang School, Thailand

# 目次

1. 東京学芸大学の環境教育に関する教育  
研究組織
2. 環境教育実践施設の教育研究活動
3. 国際教育協力の事例：  
タイの環境教育と教育協力の小史
  - 1) タイの環境教育の現在
  - 2) タイとの環境教育に関する協働活動

# 1. 東京学芸大学の環境教育に関する 教育組織

- 教育学部教養系  
環境教育課程(100名)  
環境教育専攻(25名) → 環境教育教室
- 大学院教育学研究科修士課程  
総合教育開発専攻(24名)  
環境教育コース(6名)
- 連合大学院学校教育学研究科博士課程  
学校教育学専攻教育構造論講座

## 2. 環境教育実践施設の教育研究活動

- 設置目的
- 共同教育研究事業
- 教育研究事業

# Objectives 設置目的

1. For research on the theory of environmental education  
環境教育の理論的研究
2. To develop the teaching method and materials for environmental education  
環境教育の方法論、教材開発研究
3. For research on the natural resources related to environmental education  
環境教育に関連した自然資源保全の研究
4. For education of students  
大学、大学院、附属学校の生徒の教育／学習支援
5. For extension to teachers and citizens  
現職教員研修、市民の生涯学習

# Activities 共同教育研究事業

## 1. Extension courses 大学公開講座(2003)

- Adventure school for children in Chichibu-Tama-Kai National Park

国立公園での「子供のための冒険学校」「ぬくい少年少女農学校」

- Environmental education training for teachers focusing outdoor  
野外における環境教育

## 2. Seminars 公開セミナー(2003)

- 21st Seminar for Environmental Education 環境教育セミナー
- 7th UNESCO/Japan Seminar on Environmental Education in Asian-Pacific Region (<http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/apreen/>)

第7回ユネスコ/日本・アジア太平洋環境教育セミナー

# Projects 教育研究事業

- 1. GLOBE (Global Learning and Observation to Benefit the Earth):  
Japan Center for GLOBE Program グローブ日本中央センター**  
(<http://www.globe.gov/> <http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/globe/>)
- 2. Research survey projects for environmental education: Research for  
promotion of environmental education in Japan**  
日本で実施されている環境教育の総合調査
- 3. Research project for nature conservation: Research for nature  
conservation such as the biodiversity of millets**  
環境保全、在来栽培植物の教材植物遺伝資源保全の研究  
(<http://www.globe.gov/> <http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/millets/>)

国立大学環境教育等施設協議会  
他大学環境教育教室  
環境学習センター  
教育委員会  
モデル学校など  
青年の家、自然の家など  
日本環境教育学会  
国内ネットワーク

# インターネット活用 Eilnet, GLOBE 環境学習プログラム

## 国際ネットワーク

国連大学高等研究所  
ユネスコアジア太平洋セミナー  
グローバルラーニング21  
ラジャバト大学など  
ワールドスクールネットワーク

環境教育研究部門

野外教育研究部門

## 環境教育実践施設

環境教育分野

野外教育分野

環境科学分野

環境文化分野

理念と教育方法  
施設・設備  
環境教育情報

教材開発  
エコミュージアム  
野外活動

都市・農村生態  
ビオトープ  
生物多様性

公開講座  
公開セミナー  
教員研修協力  
教材、資料提供

生活文化  
動植物園  
地域計画

## 環境教育実践施設の教育研究事業 とネットワーク

教育学部、大学院、連合大学院



### 3. 国際教育協力の事例:

## タイの環境教育と教育協力の小史

### 1) タイの環境教育の現在

**Angkana Onthanee**

**Watthonglang School, Thailand**

# Teaching and Learning Environment in Schools of Thailand

Introduction

Environmental education aims to:

The environmental curriculum should be offered to students at all levels in order to:

Curriculum framework:

# Aims

1. Awareness
2. Attitude
3. Knowledge and Skills
4. Actions

# Curriculum Framework

- Ecosystem and biodiversity
- Human population and environment
- Impact of natural resources
- Natural resources and environmental crisis

### 3. 国際教育協力の事例:

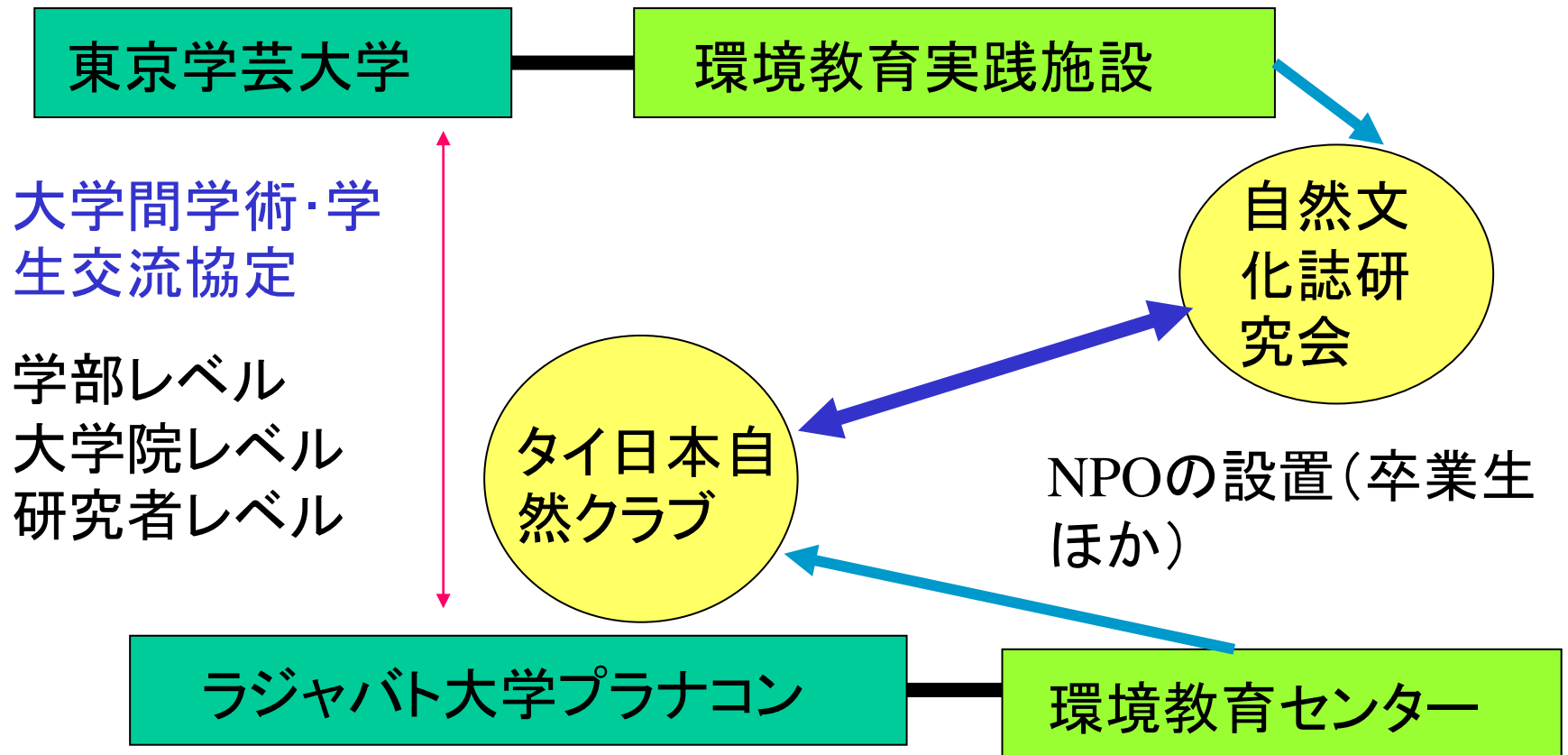
## タイの環境教育と教育協力の小史

### 2) タイとの環境教育に関する協働活動

# 東京学芸大学環境教育実践施設関係者の環境教育分野におけるタイとの交流史

- 1983 バンコック訪問
- 1991 タイ環境研究研修センターから研修者を受け入れ(JICAによる)
- 1993 タイの科学技術教育開発研究所から視察団(UNESCOによる)
- 1994 UNESCOワークショップ(バンコック)に移動講師として招聘参加
- 1995 アジア太平洋環境教育シンポジウム開催(東京)に招待
- 1996 自然文化誌研究会、ラジャバト大学と合同でタイにおいて環境教育キャンプを開始、以後ほぼ毎年行っている
- 1997 東京学芸大学とラジャバト大学プラナコン校は学術交流協定を結ぶ
- 1998 第2回アジア太平洋環境教育シンポジウム開催(東京)に招待  
UNESCO日本アジア太平洋環境教育セミナー開催(東京で毎年開催)
- 1999 タイ日本自然クラブ(Thailand-Japan Nature Club)の創立  
ラジャバト大学プラナコン校大学院に環境教育コース創立、客員教授として毎年講義を担当
- 2000 環境教育キャンプ第5回(カオヤイ国立公園、ホンビルの調査、教材作成)
- 2001 第20回環境教育セミナーに招待。大学院講義でネットミーティングを開始
- 2002 新千年紀の環境教育に関するワークショップ(バンコック)に招待講演  
教員研修生の受け入れ(文部科学省による)  
タイにおける精霊の家に関する調査研究への協力
- 2003 東京学芸大学とラジャバト大学プラナコン校は学生交流協定を結ぶ

# 環境教育協力の構図



# タイ日本自然クラブの目的

- 両国の国立公園での環境学習キャンプによる環境教育担当教員ほかの研修
- 環境教育とその学習教材の開発と普及
- 環境教育学理論の体系化(タイ、オーストラリア、日本の共同研究による)

組織：本部はタイで、会長はタイ人会員、副会長は日本人会員、運営委員は同数とする。

<http://www.hi-ho.ne.jp/nakagomikiyosi/tjclub.html>



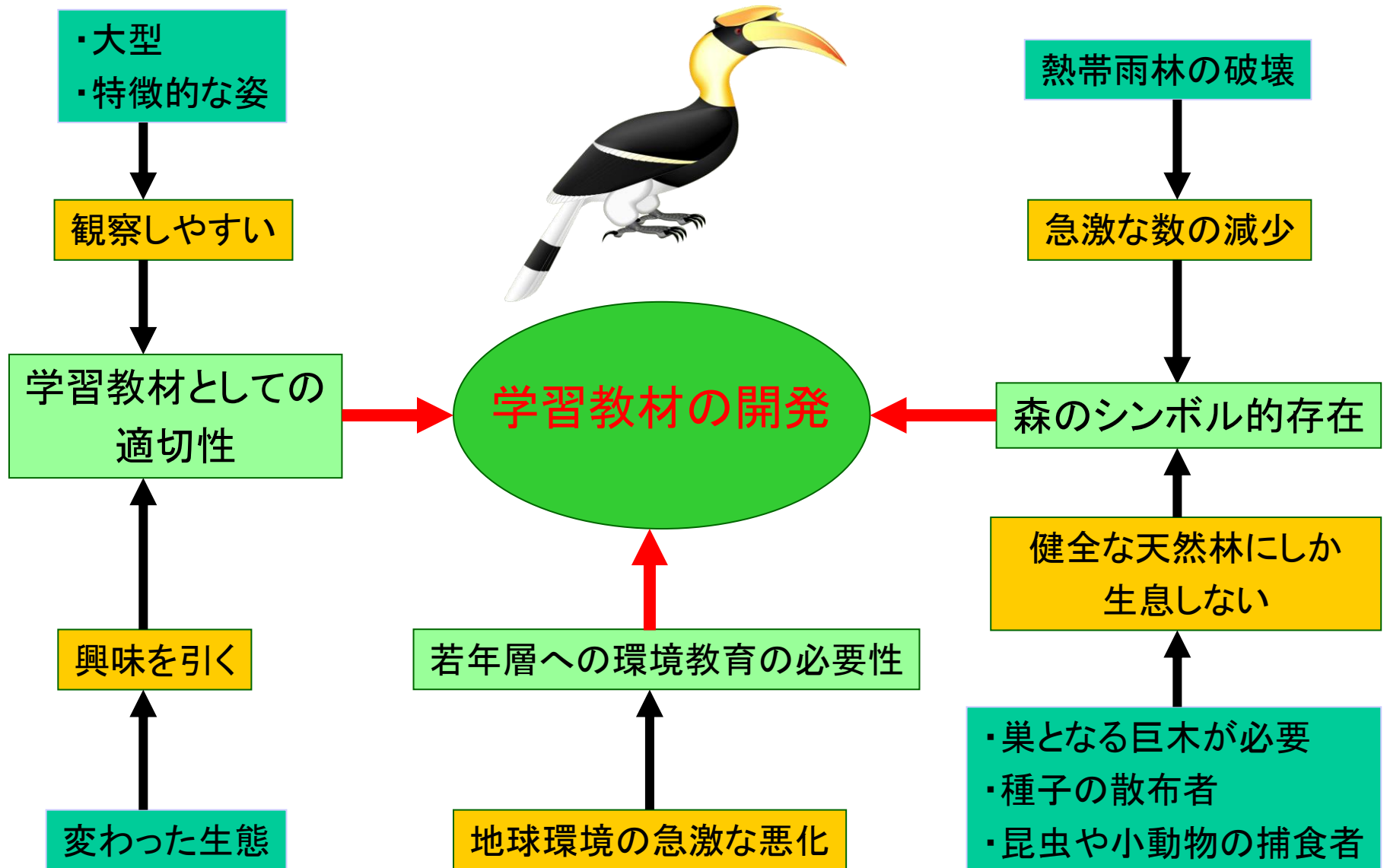
# Environmental education seminar in Rajabhat Institute Phranakhon



# Planting mangrove trees



# サイチョウ学習教材の開発の意図

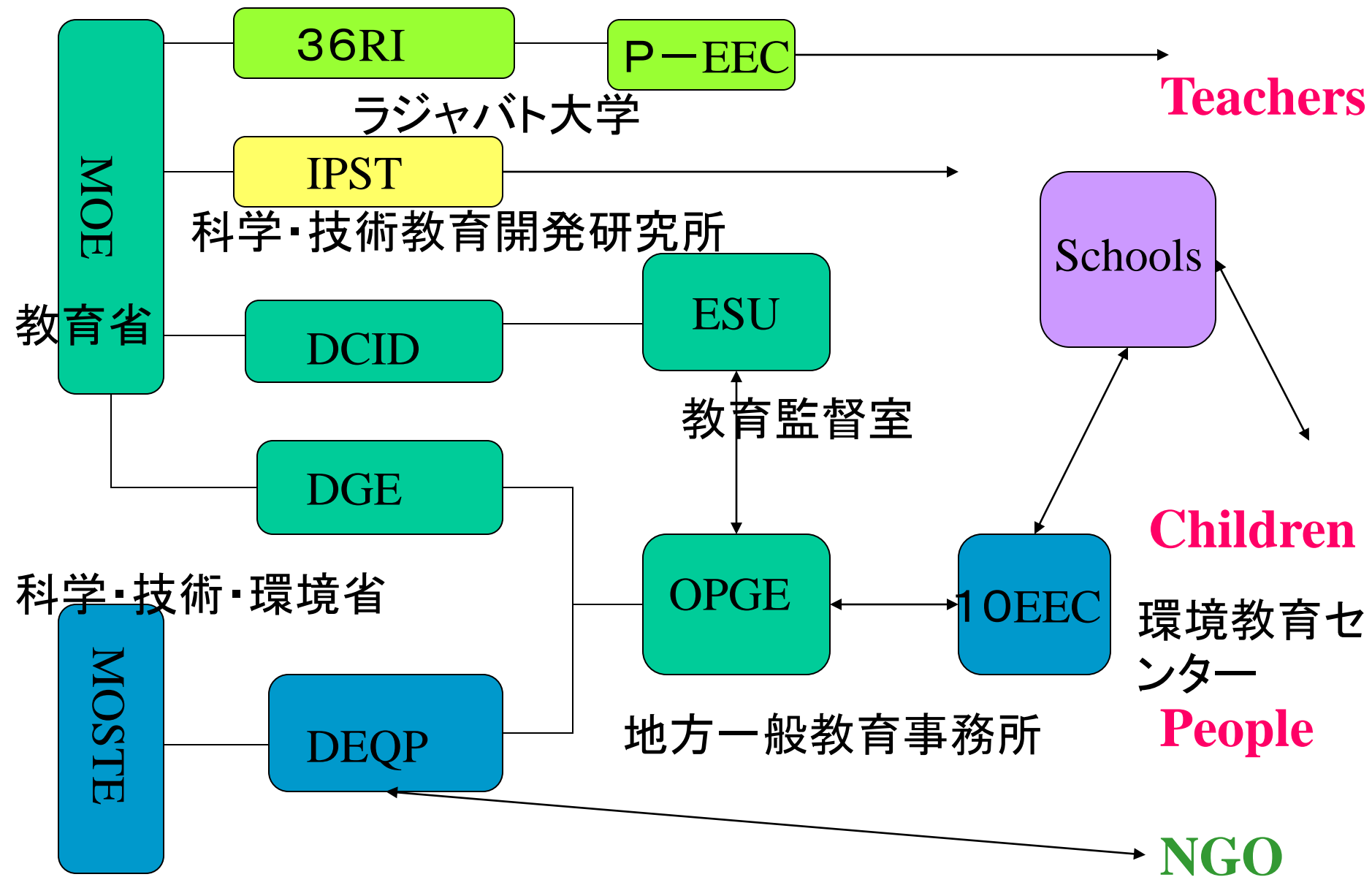




サイチョウの種類と性別を学習するパズルの説明



タイのサイチョウ研究者も交えて、サイチョウのゲームを楽しむ



**Fig. 6. Environmental Education System in Thailand**

**図6. タイの環境教育活動体制 (野村総合研究所1998追加改変)**

# 教育協力のための今後の課題

- 学生、教員交流のための奨学金、基金など
- 教員研修プログラム、カリキュラムレベルの体系的比較検討
- 開発教材、プログラムの相互使用と評価、改善
- 低価格簡便な環境測器教具の開発
- プログラム内容において共通性と特異性を検討し、相互理解を高める(たとえばマングローブを例として)
- 定点ワークキャンプによる環境修復、学習交流